

森からのおくりもの

四国の森づくりを

「四国山の日・いっこうち」開催

四国四県と四国森林管理局による「四国の森づくり」に関する共同宣言（平成一六年）に基づき一〇月一三日（土）・一四日（日）の二日間高知市と嶺北地域を中心に「二〇一〇 四国山の日・いっこうち」が開催されました。

「持続可能な山の暮らしを支える

四国の森づくり」をテーマに

「四国山の日」の趣旨は、森林の持つ多面的機能を発揮させるため、森林整備・木材利用・森林環境教育活動を地域住民やボランティア、関係機関等との連携、協力して取り組むものです。

一日目は、局大会議室で「四国山の日賞」の表彰式等に続き、デザイナーの梅原 真さんによる「森林をタノシクするプロジェクト」と題しての講演等に多くの市民が聴講されました。

二日目は、嶺北地域において、①自伐林家視察 ②森の工場視察 ③甬喜ヶ峰フェスティバルコースの三分科会に分かれ森づくりの交流を深めました。今回は、徳島県で開催予定です。



四国山の日
11月11日は四国山の日

24 国有林野事業業務研究発表会



出番です

高知中部森林管理署
森林ふれあい係長
北川 絵美 さん

北川さんの出身は高知県。24年8月ふれあい係長に。職場では北川さんを待っていたかのように、森林環境教育を。9月、香北青少年の家と連携したイベントでは、地域の児童たちを前に、北川さんが「森林のはたらき」等を説明した後、木を使ってふくろう作りを指導。

10月、野市小学校児童（5年生）に白髪山登山口駐車場で、二ホンジカ対策としてラス巻を指導。北川さんは、自然と動物との共生に向けた話を聴く児童の真剣な眼差しが心に残っていると。家に帰れば二人のお子さんの母親の顔に。職場では業務と子育てに奮闘する北川さんの逞しさに期待大。

編集後記

暦は11月。紅葉の美しい季節に。気温の低下、体調にはくれぐれもご留意を。

平成二四年度 国有林野事業業務研究発表会が、一二月二〇日（火）林野庁において開催されます。四国森林管理局から森林技術（二課題）・森林ふれあい・国民の森林の三部門に四課題を発表します。

森林技術部門①「囲いわな」によるシカ捕獲試験について

森林技術センター 森林技術普及専門官 鷹野 孝司

業務係長 佐竹 祐記

②「工事箇所等における写真撮影の方法について」

局治山課 設計指導官 徳満 千秋

四十万森林管理署 治山第二係長 猪迫 啓司

森林ふれあい部門「段ノ谷山国有林を活用した地域活性化について」

佐喜浜の源木を育てる会 会長 田村拓 会員 阿野田直人

安芸森林管理署 森林ふれあい係長 吉田 純一

国民の森林部門「屋島国有林における落石防止対策の検討と整備」

香川森林管理事務所 主幹（治山第二） 澤村 昭文